

# 令和7年度 第3回水道審議会資料

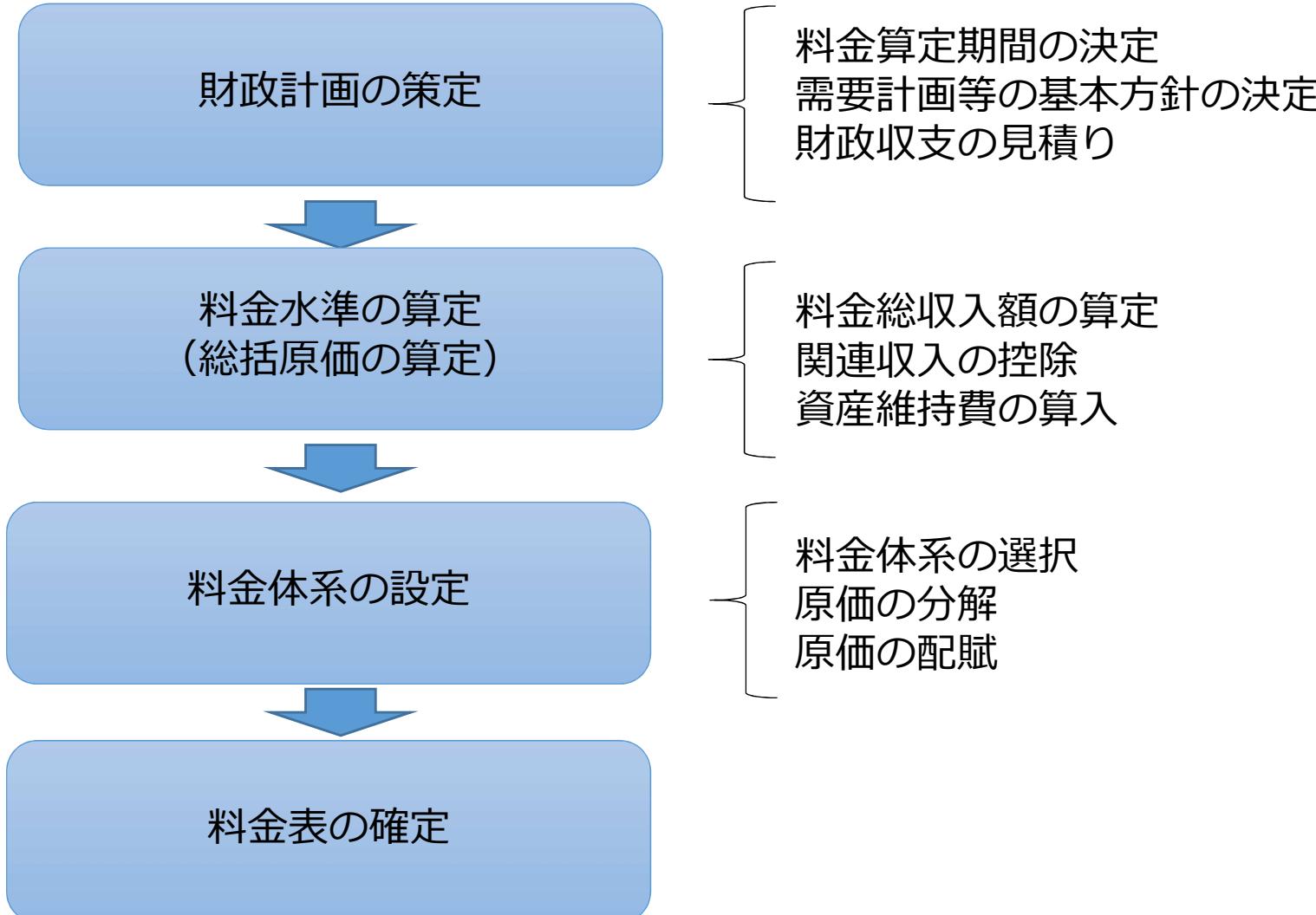
東松山市 水道事業

令和7年10月21日（火）

# 目次

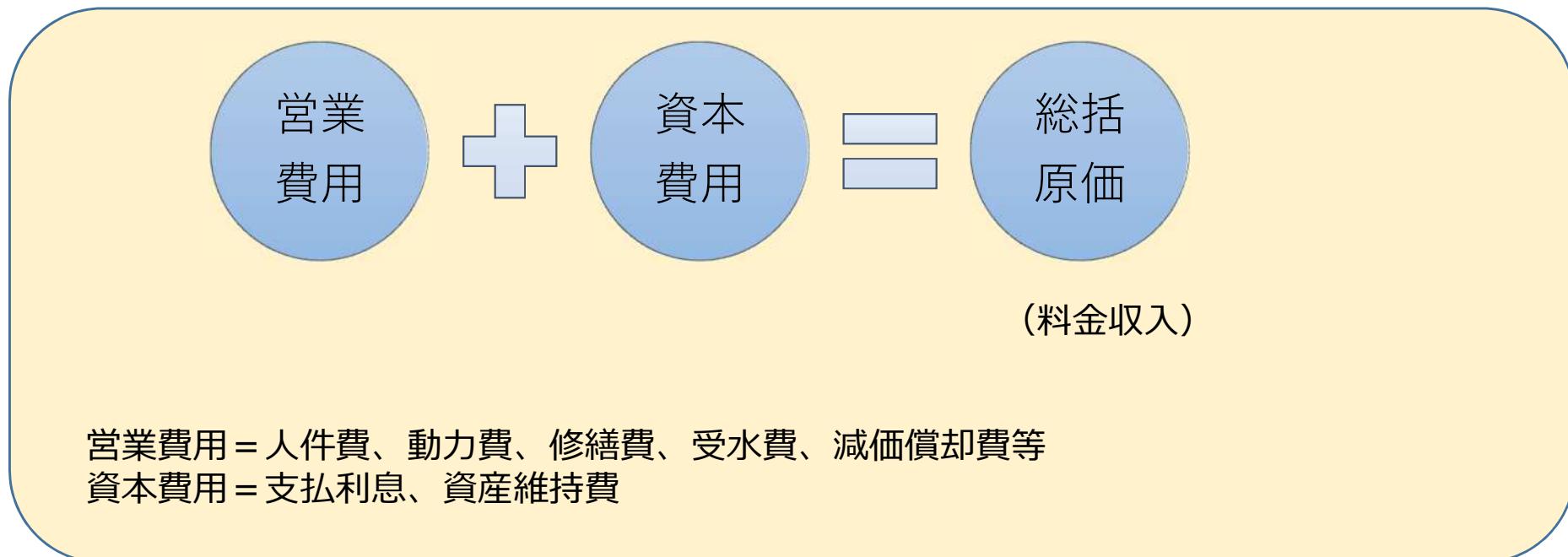
- 水道料金の考え方について P 2～4
- 総括原価に基づく料金算定 P 5
- 新料金体系の算定結果 P 6～7
- 改定パターンの検討 P 8～17
- 主な更新（耐震化）予定 P 18～19

# 水道料金の考え方について～料金算定方法～



# 水道料金の考え方について～総括原価～

- 独立採算制の原則により「水の供給に必要となる原価」を料金収入により回収する必要がある。この回収すべき費用を「総括原価」という。
- 必要な営業上の費用に、健全な経営を維持するために必要な資本費用を含めたもの。



# 水道料金の考え方について～算定方針～

## 基本方針

激変緩和のため、現行料金体系を改定後も維持する

基本料金体系

: 口径別料金体系

二部料金制

: 基本料金と従量料金を組み合わせた料金制度

基本水量

:  $10\text{m}^3$ ／月

超過料金

: 過増型従量料金体系

## 料金算定期間

2027(R9)年度～2031(R13)年度の5年間

※手引きでは料金算定期間は、概ね将来の3年から5年を基準

# 総括原価に基づく料金算定～適正な料金水準～

- 2027(R9)年度～2031(R13)年度の5年間の総括原価は  
114億5,000万円と算出された

控除  
2.8億円

料金収入で回収すべき額「総括原価」  
114.5億円

営業費用  
97.5億円

資本費  
19.8億円

# 新料金体系の算定結果～料金改定案～

- 本市の現況や公平性を加味しつつ、必要な基本料金収入が得られるような改定案とする

## 料金改定案

- 案①：手引き準拠案をベースとして基本料金の改定率の差を調整する
- 案②：手引き準拠案をベースとして基本料金を全口径一律改定
- 案③：現行料金体系をベースとして基本料金、従量料金を一律改定

# 新料金体系の算定結果～新料金案③～

- 現行料金体系をベースとして基本料金、従量料金を一律改定

基本料金 案③

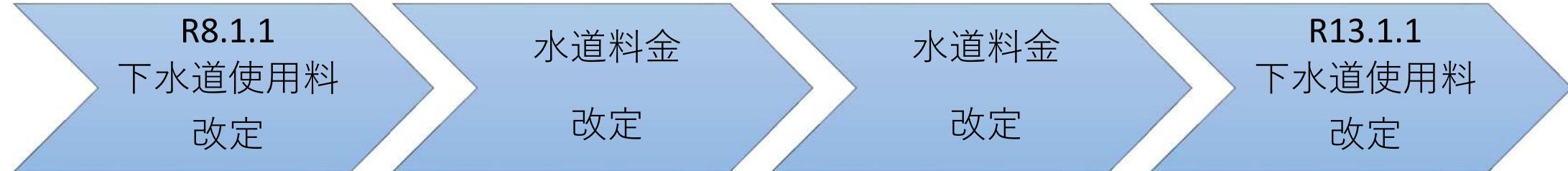
口径	基本水量	現行料金	案③	改定率(%)	改定額(円)
13mm	10m <sup>3</sup>	750	1,150	53.3	400
20mm		750	1,150	53.3	400
25mm		750	1,150	53.3	400
30mm		5,600	8,400	50.0	2,800
40mm		10,100	15,200	50.5	5,100
50mm		15,000	22,500	50.0	7,500
75mm		38,600	57,900	50.0	19,300
100mm		64,500	96,800	50.1	32,300
150mm		142,000	213,000	50.0	71,000
200mm		200,000	300,000	50.0	100,000

従量料金 案③

水量区分	現行料金	案③	改定率(%)	改定額(円)
10m <sup>3</sup> 以下	0	0	-	0
11～15m <sup>3</sup> 以下	85	130	52.9	45
16～30m <sup>3</sup> 以下	115	170	47.8	55
31～50m <sup>3</sup> 以下	150	230	53.3	80
51～80m <sup>3</sup> 以下	190	290	52.6	100
81～120m <sup>3</sup> 以下	225	340	51.1	115
121～	255	380	49.0	125
プール及び浴場 11m <sup>3</sup> 以上	135	200	48.1	65

# 改定パターンの検討～料金改定の時期について～

- ・令和 6 年度決算が赤字、令和 7 年度以降も赤字が見込まれる
- ・下水道使用料の改定のタイミングを考慮
- ・条例整備（議会提出）、改定作業、利用者への周知



# 改定パターンの検討～料金改定の時期について～

## 料金改定の時期

- 令和 9 年 1 月、令和 11 年 1 月

## 経営戦略策定後生じた重要事項

- 令和 6 年度決算が赤字、令和 7 年度以降も赤字が見込まれる
- 県水受水費の値上げが確定（令和 8 年 4 月から）
- 大口事業者の撤退
- 下水道事業の使用料改定の時期を勘案  
(令和 8 年 1 月及び令和 13 年 1 月)

# 改定パターンの検討～収支見込みの比較～

## ○収支見込の比較

改 定 率	R 9～R 10 の収支	R 11～R 13 の収支	R 14～R 18 の収支	10年間 の収支
50%改定 (R 9改定)	50%改定 +12.3億円			+46.5億円
(A) 40%改定→8%改定	40%改定 +9.2億円	さらに8%改定 +15.1億円	+19.1億円	+43.4億円
(B) 30%改定→16%改定	30%改定 +6.0億円	さらに16%改定 +15.1億円	+19.1億円	+40.2億円
(C) 23%改定→23%改定	23%改定 +3.8億円	さらに23%改定 +15.1億円	+19.1億円	+38.0億円

# 改定パターンの検討～改定による影響 (A) 40%⇒8%～

## ○改定に伴う影響額 (A) 40%⇒8%

口径	基本水量	現行料金(円)
13mm	10m <sup>3</sup>	750
20mm		750
25mm		750
30mm		5,600
40mm		10,100
50mm		15,000
75mm		38,600
100mm		64,500
150mm		142,000
200mm		200,000

R9.1.1～		
基本料金(円)	増額(円)	率(%)
1,050	300	40
1,050	300	40
1,050	300	40
7,900	2,300	41
14,200	4,100	41
21,000	6,000	40
54,100	15,500	40
90,300	25,800	40
198,800	56,800	40
280,000	80,000	40

R11.1.1～		
基本料金(円)	増額(円)	率(%)
1,150	100	10
1,150	100	10
1,150	100	10
8,400	500	6
15,200	1,000	7
22,500	1,500	7
57,900	3,800	7
96,800	6,500	7
213,000	14,200	7
300,000	20,000	7

水量区分	現行料金
10m <sup>3</sup> 以下	0
11～15m <sup>3</sup> 以下	85
16～30m <sup>3</sup> 以下	115
31～50m <sup>3</sup> 以下	150
51～80m <sup>3</sup> 以下	190
81～120m <sup>3</sup> 以下	225
121～	255

従量料金(円)	増額(円)	率(%)
0	0	
120	35	41
160	45	39
210	60	40
270	80	42
320	95	42
360	105	41

従量料金(円)	増額(円)	率(%)
0	0	
130	10	8
170	10	6
230	20	10
290	20	7
340	20	6
380	20	6

# 改定パターンの検討～改定による影響 (B) 30%⇒16%～

## ○改定に伴う影響額 (B) 30%⇒16%

口径	基本水量	現行料金(円)
13mm	10m <sup>3</sup>	750
20mm		750
25mm		750
30mm		5,600
40mm		10,100
50mm		15,000
75mm		38,600
100mm		64,500
150mm		142,000
200mm		200,000

R9.1.1～		
基本料金(円)	増額(円)	率(%)
1,000	250	33
1,000	250	33
1,000	250	33
7,300	1,700	30
13,200	3,100	31
19,500	4,500	30
50,200	11,600	30
83,900	19,400	30
184,600	42,600	30
260,000	60,000	30

R11.1.1～		
基本料金(円)	増額(円)	率(%)
1,150	150	15
1,150	150	15
1,150	150	15
8,400	1,100	15
15,200	2,000	15
22,500	3,000	15
57,900	7,700	15
96,800	12,900	15
213,000	28,400	15
300,000	40,000	15

水量区分	現行料金
10m <sup>3</sup> 以下	0
11～15m <sup>3</sup> 以下	85
16～30m <sup>3</sup> 以下	115
31～50m <sup>3</sup> 以下	150
51～80m <sup>3</sup> 以下	190
81～120m <sup>3</sup> 以下	225
121～	255

従量料金(円)	増額(円)	率(%)
0	0	
110	25	29
150	35	30
195	45	30
250	60	32
295	70	31
335	80	31

従量料金(円)	増額(円)	率(%)
0	0	
130	20	18
170	20	13
230	35	18
290	40	16
340	45	15
380	45	13

# 改定パターンの検討～改定による影響 (C) 23%⇒23%～

## ○改定に伴う影響額 (C) 23%⇒23%

口径	基本水量	現行料金(円)
13mm	10m <sup>3</sup>	750
20mm		750
25mm		750
30mm		5,600
40mm		10,100
50mm		15,000
75mm		38,600
100mm		64,500
150mm		142,000
200mm		200,000

R9.1.1～		
基本料金(円)	増額(円)	率(%)
950	200	27
950	200	27
950	200	27
6,900	1,300	23
12,500	2,400	24
18,500	3,500	23
47,500	8,900	23
79,400	14,900	23
174,700	32,700	23
246,000	46,000	23

R11.1.1～		
基本料金(円)	増額(円)	率(%)
1,150	200	21
1,150	200	21
1,150	200	21
8,400	1,500	22
15,200	2,700	22
22,500	4,000	22
57,900	10,400	22
96,800	17,400	22
213,000	38,300	22
300,000	54,000	22

水量区分	現行料金
10m <sup>3</sup> 以下	0
11～15m <sup>3</sup> 以下	85
16～30m <sup>3</sup> 以下	115
31～50m <sup>3</sup> 以下	150
51～80m <sup>3</sup> 以下	190
81～120m <sup>3</sup> 以下	225
121～	255

従量料金(円)	増額(円)	率(%)
0	0	
105	20	24
140	25	22
185	35	23
235	45	24
280	55	24
315	60	24

従量料金(円)	増額(円)	率(%)
0	0	
130	25	24
170	30	21
230	45	24
290	55	23
340	60	21
380	65	21

# 改定パターンの検討～具体例～

(A) 40% ⇒ 8%

使用者区分	使用水量目安	現行	
		料金(円)	
一般家庭 (1人) 口径13mm	8	750	
一般家庭 (3人) 口径20mm	20	1,750	
大口 事業者 口径50mm	1,000	259,250	

R9. 1. 1～		
料金(円)	増額(円)	増率(%)
1,050	300	40
2,450	700	40
365,900	106,650	41

R11. 1. 1～		
料金(円)	増額(円)	増率(%)
1,150	100	10
2,650	200	8
387,000	21,100	6

(B) 30% ⇒ 16%

使用者区分	使用水量目安	現行	
		料金(円)	
一般家庭 (1人) 口径13mm	8	750	
一般家庭 (3人) 口径20mm	20	1,750	
大口 事業者 口径50mm	1,000	259,250	

R9. 1. 1～		
料金(円)	増額(円)	増率(%)
1,000	250	33
2,300	550	31
340,300	81,050	31

R11. 1. 1～		
料金(円)	増額(円)	増率(%)
1,150	150	15
2,650	350	15
387,000	46,700	14

(C) 23% ⇒ 23%

使用者区分	使用水量目安	現行	
		料金(円)	
一般家庭 (1人) 口径13mm	8	750	
一般家庭 (3人) 口径20mm	20	1,750	
大口 事業者 口径50mm	1,000	259,250	

R9. 1. 1～		
料金(円)	増額(円)	増率(%)
950	200	27
2,175	425	24
320,275	61,025	24

R11. 1. 1～		
料金(円)	増額(円)	増率(%)
1,150	200	21
2,650	475	22
387,000	66,725	21

# 改定パターンの検討～収支見込みの比較（A）40%⇒8%～

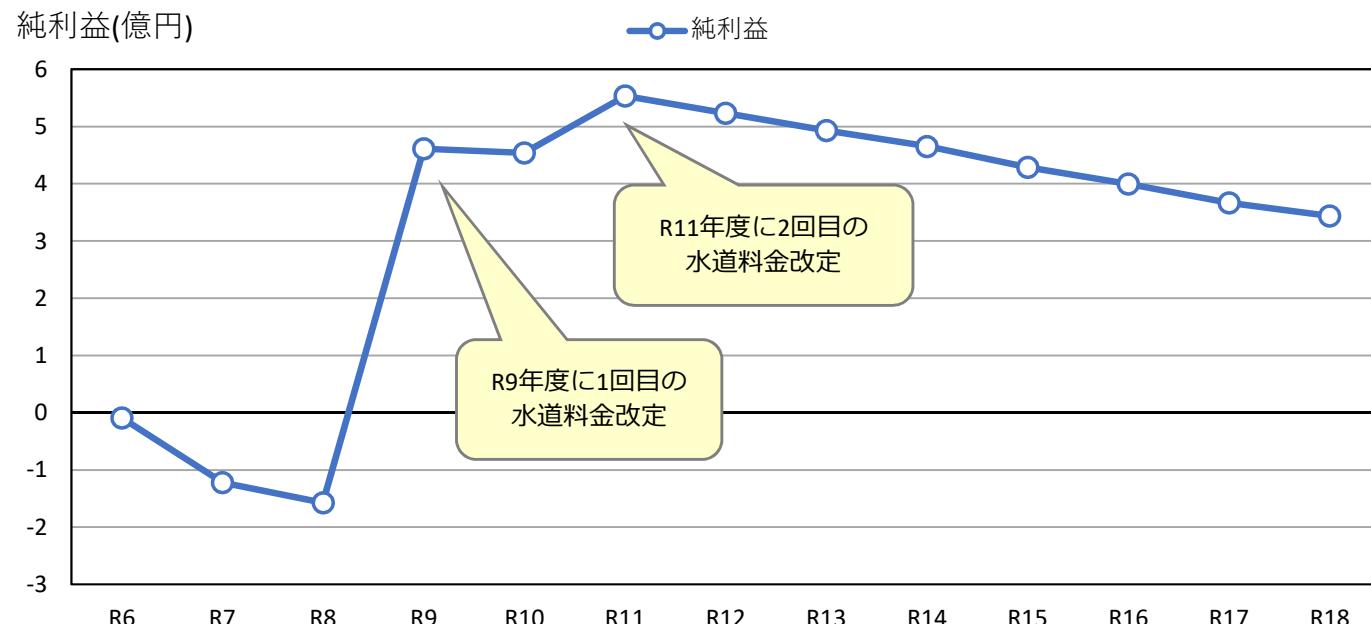
## メリット

- 累積赤字の解消が一番早い⇒耐震化などの設備投資への財源投入が可能になる
- R11改定率が一番小さい

## デメリット

- R9改定率が一番大きい

## 損益



# 改定パターンの検討～収支見込みの比較（B）30%⇒16%～

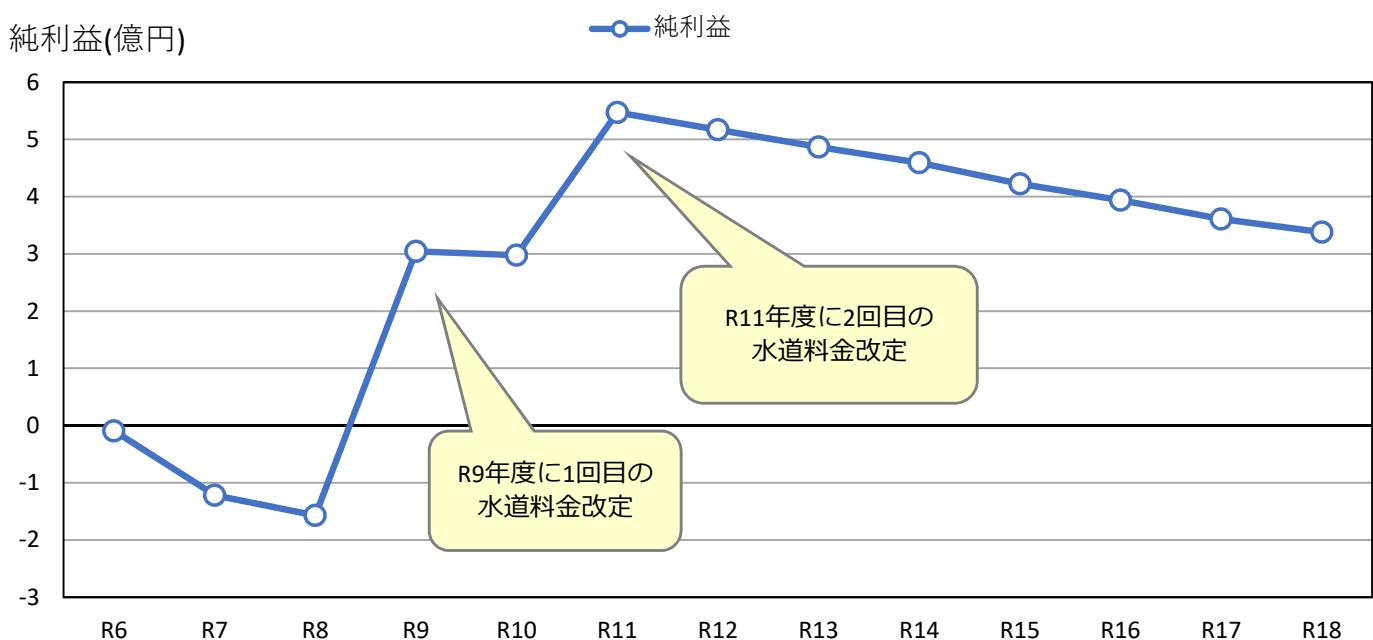
## メリット

- 累積赤字の解消が比較的早い⇒耐震化などの設備投資への財源投入が可能になる

## デメリット

- R9改定率が比較的大きい

## 損益



# 改定パターンの検討～収支見込みの比較（C）23%⇒23%～

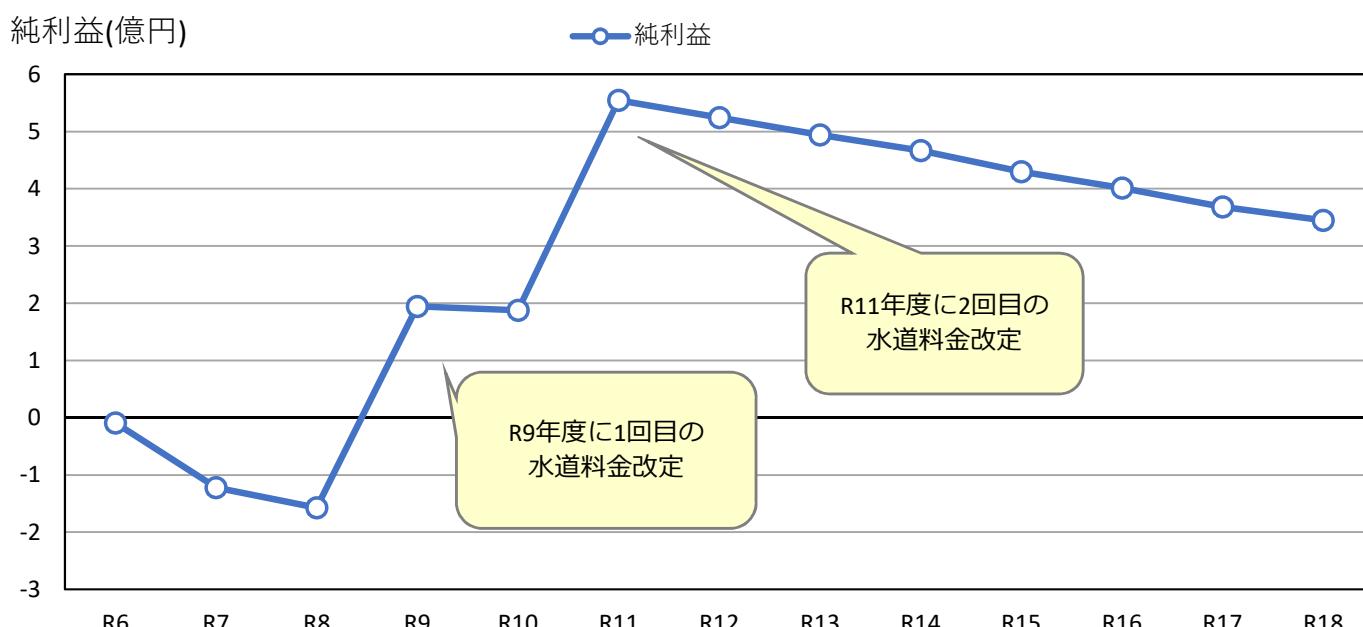
## メリット

- R9改定率が一番小さい

## デメリット

- R11改定率が一番大きい
- 累積赤字の解消が遅くなる⇒耐震化などの設備投資が遅延する

## 損益



# 主な更新（耐震化）予定～耐震化率の現状と管路更新～

## ・耐震化率の現状

	耐震化率	備考
管路の耐震化率	<b>33.8 %</b>	
浄水施設の耐震化率	<b>0 %</b>	
配水池の耐震化率	<b>2.4 %</b>	高坂丘陵配水場

## ・管路更新（耐震化）

実施内容	更新費用
管路更新（耐震化）毎年約3.0km	<b>約8億円</b>

※経営戦略策定時 約3億円

# 主な更新（耐震化）予定～構造物耐震化～

## ・構造物耐震化

実施内容	更新費用
水穴配水場：1号配水池	
水穴配水場：2号配水池	
高本山配水場：配水池2号	
高本山配水場：配水池1号	
高本山配水場：県水受水池	
第二浄水場：配水池（東・西）	約30億円